

子どものころは母がコープみやざきの共同購入を利用して、ドライバーの方に会いたくて学校から急いで家に帰ったことや、小学校からの帰りがけに見かけた生協のトラックに手を振ると、笑顔で手を振り返してくれた優しいお兄さんの姿を鮮明に覚えている。就職活動中に企業説明会で出会った採用担当の方がとても優しく、子どもの頃感じていたコープのあたたかさを思い出し受験した。

就職後は、コープみやざきのベーカリー部門で働かれていた近所の方が、いつも楽しそうに仕事をされている姿を見て、「働きやすい職場なんだろうな」と感じていたこと、またカフェ巡りが好きでパンが好きだったこともあり、ベーカリー部門を志望した。

最初の2年間は希望通りに店舗のベーカリー部門に配属され、パンの製造やレジでの組合員さんとの会話がとても楽しかった。

コープみやざきでは入協後、全部門を一通り体験する研修がある。農産部門で研修中に組合員さんから、「このれんこんを半分にできませんか?」と声をかけられた。ふと思い出したのが企業説明会で担当の方が話していた「コープみやざきは、自分の判断で組合員さんに喜ばれることをしていい」という言葉。私も勇気を出して自分の判断で、その場でれんこんを半分にして差し上げた。するとその方に「ありがとうございます!助かりましたわ」と喜んでいただき、去り際に「新人さんなんですね。研修頑張ってね!」といつも元気なエール。それからその方は、来店されるとベーカリー部門に立ち寄ってくださり、私の名前を呼んで声をかけてくださるようになりました。

私は元々人見知りをする性格だったので、このことがきっかけで人と話すことや、名前で呼んでもらえることに嬉しさを感じるようになった。それからは私自身も組合員さんの顔と名前を覚える努力をして、組合員さんと家族のように親しい関係を築くことができ、子どもの頃に感じた生協のあたたかさにふれることができた。

3年目、ベーカリー部門の商品の品揃えや使い方を提案する品揃え担当になった。お取引先と商談を行い、毎月季節や行事に合わせて品揃えする商品を決めていく仕事。担当になつた時、「まだ経験が浅い私にできるだらうか…」ととても不安だった。半年経つ頃、「ベテランの先輩職員ばかりの中で、私がここにいていいのだらうか…」と考えてしまい、自分にはこの仕事が向いていないのではないかと悩んだ時期があった。そんな時、研修でお会いした理事長から「誰にだって向き不向きはあるけど、向きにできるかが一番大事」という言葉をかけていただき、それからはすべてのことに対する前向きに取り組めるようになつた。

「この新商品は組合員さんに喜ばれそうだな」と思い品揃えした商品が、多くの方に利用していただいた時や、組合員さんから「おいしかったよ」との声をいただいた時には、とてもやりがいを感じる。

今では、私のことを気にかけて声をかけてくださる周りの先輩方に支えながら、楽しく前向きに仕事をさせてもらえている。

私が好きなコープみやざきの方針は「まずはやってみる」。どんな企業で働いても壁にぶつかり悩むことがあります。そんな時、一緒に働いている職員のサポートや声かけと「まずはやってみる」の気持ちが、自分一人では乗り越えられなかつたであろう壁を乗り越える力になるのだと思います。

それとコープみやざきは、内面を磨き自分を成長させてくれる「学校」のようなものだと感じています。これからもコープみやざきで新しいことに挑戦し、自分を磨き続けていきたい。



Miku Nojiri

「まずはやってみる」のおかげで成長できた  
これからも様々な新しいことに挑戦し コープみやざきで自分を磨いていきたい



誰にでもステップアップできる  
チャンスがある組織!!

私は高校卒業後、専任職職員として採用され店舗のベーカリー部門に就きました。入協3年目から商品本部に異動になり、ベーカリー部門の商品の品揃えや使い方を提案する品揃えの仕事をしています。

コープみやざきでは高校新卒者は店舗か共同購入の職種を選択できる職種限定の専任職として採用されます。就職後は内部でステップアップできる登用制度があり、誰でも総合職職員の試験に挑戦することができます。

働きはじめたばかりの頃は、自分が総合職の試験に挑戦するなんて考えてもいませんでした。でも専任職として働いている同期や先輩が、総合職に挑戦されていることを知り、「誰でも挑戦していいんだ!」と勇気をもらいました。それからコープみやざきでは、他の事業所で働く職員の優れた実践や組合員さんに喜ばれた事例が紹介される部内報があります。他事業所で働く職員の実践を見ていると、私も様々な事業を経験しもっと組合員さんに喜ばれたいと思うようになりました。

仕事も勉強もがんばって3回目の挑戦で総合職職員の試験に合格することができました。コープみやざきの「まずはやってみる」という方針が好きで、この気持ちで仕事をしているうちに、これからもさらに経験を積み重ねて自分を磨いて成長していく思います。